

猿島未来宣言 2030

Sarushima Sustainable Tourism

KEIKYU

ALways Security OK

ALSOX

感動のそばに、いつも。JTB

一般財団法人 ティサポートよこすか

かながわ信用金庫
かなしん

SHONAN
湘南しんさん

学校法人 三浦学苑
MURA GAKUEN 三浦学苑高等学校

YMSC
協同組合 横須賀三浦半島食俱樂部

willdoor

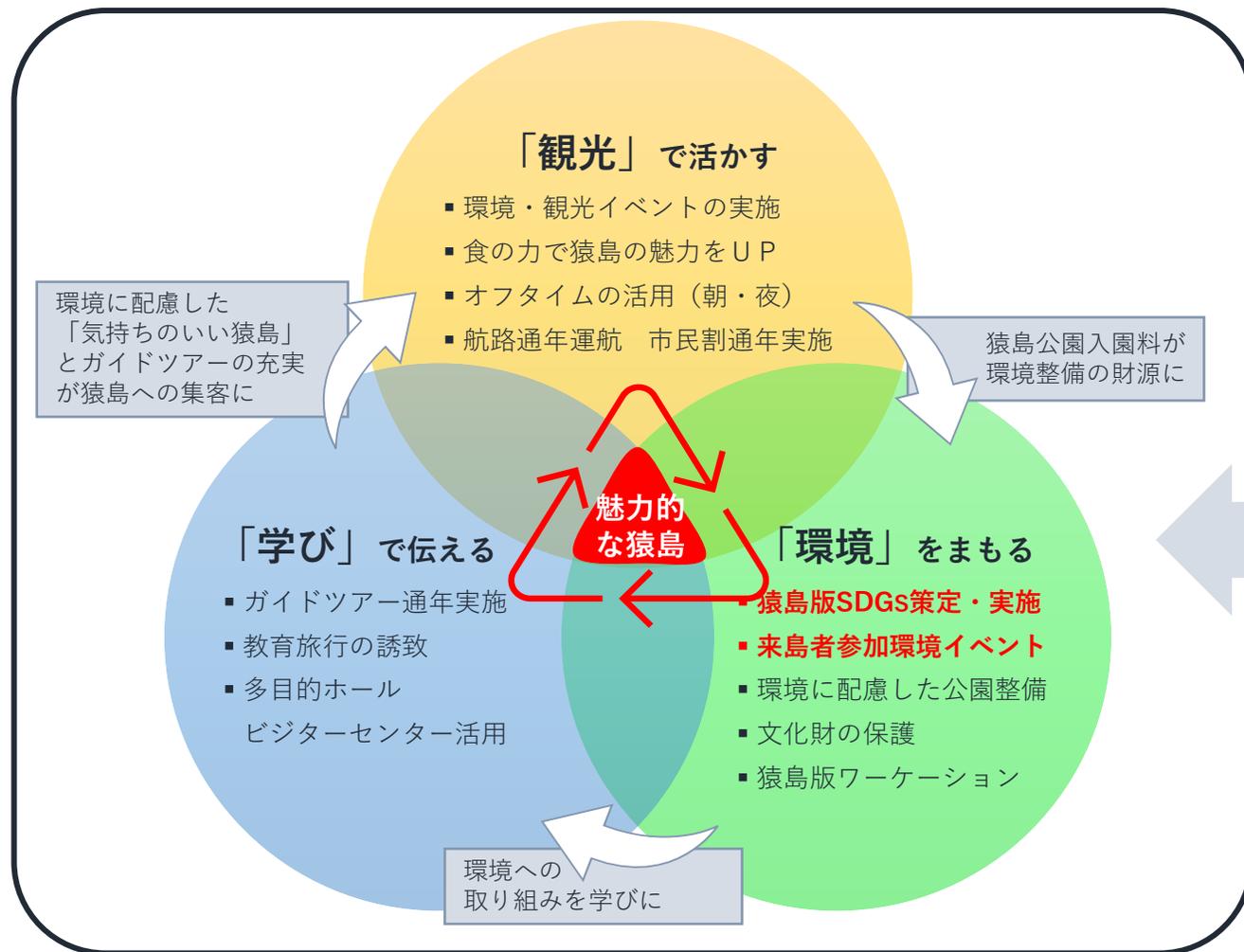
WS
RO

epc
environmental
partnership
council

TRYANGLE

取り組みの方向性

魅力的な猿島＝お客様とつくる「環境」×「観光」の好循環



民間主導の官民連携コンソーシアム
実施主体

序文

2015年9月の国連総会にて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を踏まえ、2030年の猿島の将来像を描き、その実現に向けたロードマップをここに作成します。

Covid-19感染拡大を受けた「Withコロナ」時代の訪れが人類共通のテーマとなりました。これまで少子高齢化社会に突入していた日本において、心身ともに豊かな暮らしを次世代とも共有していくためには、地域社会が健やかであることが重要であり、その健やかさを保つために、新たな社会のデザインが求められています。

その要素となるのが、地域における「環境保全」「社会包摂」「経済活性」であることは言うまでもありません。しかしそれらは、どれか一つを個別に、対処療法的に対応するのではなく、3つを統合的に取り組み「循環」させることに意義があると考えます。

そのために、従来からつながりのあった利害関係者（ステークホルダー）だけでなく、実現に向けたプラットフォームは常にオープンにし、広く地域社会と一緒に考え、実行する機会を創出していきます。

〚猿島未来宣言2030〚

宣言

私たちは、“猿島版SDGs” 達成を通じて、猿島を中心に主に横須賀・三浦半島地域における「環境保全」「社会包摂」「経済活性」の統合的向上を目指します。

今や年間20万人以上が訪れる東京湾の無人島・猿島は、首都圏を代表する観光スポットの1つとして、「持続可能な観光地」として存在していかなければなりません。

横須賀の宝であるこの島で「環境」と「観光」の両立、そしてそれらを結ぶ「学び」を循環させる取り組みが始まることにより、地域社会全体の魅力向上にもつながります。

加えて、この無人島で知恵を重ねていくことが、国連で定められた持続的な開発目標（SDGs）を実践することになり、東京湾に浮かぶ小さな島が「環境」と「観光」の循環で持続的に発展する1つのモデルになると信じています。

※世界観光機関（UNWTO）は、持続可能な観光を訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティーのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に配慮する観光と定義しています。

	SDGsの各目標	2030年に実現したい島の像	実現に向けたプロジェクト案
	貧困をなくそう	全ての人が文化や自然を体験できる島	貧困家庭向けクーポンの発行
	飢餓をゼロに	地域の一次産業を支える島	提供する食材の100%地産地消/地元海産物の持続的な利用/フードループ
	すべての人に健康と福祉を	人々の健康を守る島	島内の全面禁煙化/リトリートプログラムの開発
	質の高い教育をみんなに	多様な学びを提供できる島	修学旅行等の受入/アドベンチャープログラム（冒険型教育）の開発/戦争の歴史の聞き書き・保存/文化財の保護/インターンシップ受入
	ジェンダー平等を実現しよう	性別に関係なく自分らしくいられる島	ジェンダーレストイレの設置
	安全な水とトイレをみんなに	淡水の循環を感じられる島	浄化槽の設置
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	再生可能エネルギーで生きる島	太陽光・風力などによる再生可能エネルギー100%/電気推進船
	働きがいも経済成長も	地域経済循環の一部を担う島	備品や調達の地産地消100%/地元雇用・インターンシップ受入
	産業と技術革新の基盤をつくろう	社会のための技術を活用できる島	災害時における無人小型船の運航/ドローン等を活用した社会的弱者の包摂/電気推進船
	人や国の不平等をなくそう	誰もが安心安全に楽しめる島	案内の多言語化/ノーマライゼーション/ハラル認証/貧困家庭向けクーポンの発行
	住み続けられるまちづくりを	まちづくりの中心にある島	市民の利用促進・主体性強化/ドローン等を活用した社会的弱者の包摂/地元雇用・インターンシップ受入
	つくる責任つかう責任	資源が循環できる島	エコステーションの設置/プラごみ0/生ごみのたい肥化
	気候変動に具体的な対策を	脱炭素社会に適応した島	砂浜の消失・縮小防止/熱中症0/太陽光・風力などによる再生可能エネルギー100%/電気推進船
	海の豊かさを守ろう	豊かな海洋資源を賢く利用する島	地元海産物の持続的な利用/プラごみ0/フードループ
	陸の豊かさを守ろう	生物多様性と共にある島	植生や生物の把握/鳥類の越冬地保全/文化財の保護
	平和と公正をすべての人に	誰もが主体的に関われる島	未来宣言実現のプロセスの可視化/市民の利用促進・主体性強化/多様な主体の参画
	パートナーシップで目標を達成しよう	多様な主体が協力し合う島	未来宣言実現に向けたプラットフォームの設立/多様な主体の参画

ーこの取り組みへの思いー

無人島猿島は、豊かな自然と歴史遺産が共存した東京湾唯一の自然島で
今では年間20万人以上が訪れる横須賀の観光スポットの一つです。

横須賀のシンボリックな存在の猿島がこれからも魅力的な存在であり続けるために、
来島者参加型の「環境と観光」が好循環する「猿島モデル」を形にしたいと思っています。
そして、そこに訪れるお客様が「食」も含め五感で感じ、自然の中で自由な発想で楽しみ
いつまでも愛され、「ワクワク」と「癒し」で溢れる猿島をイメージしながら…
猿島の未来を考える小さな取り組みの「成功」が、大きなうねりになっていくことを信じて
民間主導の官民連携で2030の実現に向けて進めていきます。

地域・人・未来
 TRYANGLE
代表取締役 鈴木隆裕